

LIVE REPORT

03|30 fri. 広島クラブクアトロ

BIGMAMA

新天地に挑む5人の  
決意が表れた  
ロック×クラシックの真骨頂

昨年、現メンバーでの編成10周年を記念して、ベストアルバムの発売や日本武道館での初単独公演とアニバーサリーツアーを駆け抜けたBIGMAMA。2018年は彼らにとって、これからまた新しく始まる10年に向けての第一歩、さらにはメジャー移籍という新天地での挑戦の第一歩をしっかりと刻んでいく、大切な1年だ。

そんな意味のある年に行われる、【TRANSIT MAMA TOUR 2018】と銘打たれた全国10カ所をめぐる今ツアー。3カ所目として訪れた広島の前では、ライブ前の会場にこんなアナウンスが。「この便は、広島クラブクアトロ行きトランジット航空003便でございます。……皆さま、シートベルトを“外す”ご用意はよろしいでしょうか?」。ライブの始まりを告げるのに十分すぎる程のメッセージに、フロアには大きな歓声が巻き起こる。一気に高揚感が満たされた会場に、1曲目『The Game is Over』のイントロが鳴り響いた。

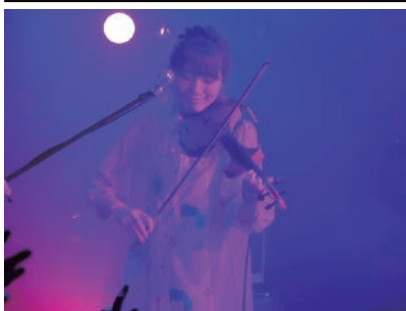
これまでBIGMAMAが培ってきたストーリーを振り返りながら、昨年の武道館ワンマンライブで演奏されなかった楽曲を中心に構成されている今ツアー。ライブ定番曲から10年来のファンにも愛される名曲まで多数盛り込まれたセットリストで、次々とオーディエンスを魅了していく。『アリギリス』では、ライブ序盤戦に勢いをつけるような男らしく力強い演奏で観客を魅了。初期のナ

ンバー『little cloud』が始まるとフロアは色めき立ち、ハンスクラブにジャンプにと観客もあがりつたに音を楽しみ尽くす。5人の勢いと圧倒的なパワーで、続けざまに10曲が披露されていった。

ダイナミックに5人のアンサンブルを動かすリアド偉武(Dr)、タフなビートで熱気をもたらす安井英人(Ba)、エモーショナルに楽曲の世界観を表現する柿沼広也(Gt/Vo)、優しさど激しさの両方を巧みに奏でる東出真緒(Violin)、そしてドラマティックにバンドの音世界を描き出す金井政人(Vo/Gt)。ヴァイオリニストがいるこのバンドでしか表現できない、ロックとクラシックの融合をベースに生まれる独創的でジャンルレスな音楽の数々。ライブ前半で見せた勢いから一点、今度は『Lovers in a Suitcase』や『A KITE』といった伸びやかに聴かせるバラードやミドルナンバーで、会場をひとつに包み込んだ。

「声がかスカスになるくらい最高に楽しいわ!」との東出の言葉に、ほかのメンバーの表情にも笑顔があふれるMC。東出「広島のみんなはお行儀が良すぎるから、もっと遠慮せず前出てきていいんちゃうかな(笑)」、金井「今日は曲をたくさん演奏

- |                                       |                            |
|---------------------------------------|----------------------------|
| 01. The Game is Over                  | 13. Flameout               |
| 02. アリギリス                             | 14. A KITE                 |
| 03. ヒーローインタビュー                        | 15. Royalize               |
| 04. Weekend Magic                     | 16. Dowsing For The Future |
| 05. Baseball prayer                   | 17. ワンダーラスト                |
| 06. Sleeping Beauty<br>～二度寝する眠れる森の美女～ | 18. かくれんぼ                  |
| 07. little cloud                      | 19. POPCORN STAR           |
| 08. Merry-Go-Round                    | 20. Paper-craft            |
| 09. "MISSION 481"                     | 21. Donuts killed Bradford |
| 10. look at me                        | 22. フェビュラ・ワイビュラ            |
| 11. Lovers in a Suitcase              | 23. 荒狂曲“シンセカイ”             |
| 12. Theater of Mind                   | 24. Strawberry Feels       |
|                                       | 25. CRYSTAL CLEAR          |



します。みんなの好きな曲がどれかひとつでも入っていればいいな—って思うの半分、入っていないでもいいかな—って思うの半分(笑)」と、メンバーそれぞれにリラックスしながら繰り広げる会話に、フロアからも笑い声が。このMCまで、怒涛の勢いで楽曲を放ってきたBIGMAMAと、それを全身で受け止めてきたオーディエンス。つかの間のクールダウンを共有した後は、いよいよライブ終盤戦に突入だ。

歌詞とメロディが抜群にマッチする『かくれんぼ』、イントロのギターが鳴った瞬間に大歓声が巻き起こったアッパーチューン『Paper-craft』、激しさを美しさに見事に消化させた『荒狂曲“シンセカイ”』、そして新曲の『Strawberry Feels』と、BIGMAMAの真骨頂をたっぷり堪能できる最後まで攻め続けた楽曲構成に、オーディエンスも拳をあげ、フロアを揺らし、大合唱で応える。終わってみれば全25曲を披露と、メンバーもファンもともに駆け抜けた濃密な2時間。盛大な高揚感に包まれたフロアには、歓声と拍手が鳴り止まなかった。



New  
Single

「Strawberry Feels」  
out now!!



★ 【WILD BUNCH FEST. 2018】  
7月28日(土) 山口きらら博記念公園